

令和元年度 第5回倉吉市国民健康保険運営協議会（概要）

日時：令和元年 11月7日（木）

午後1時30分から午後2時00分まで

場所：倉吉市役所 議会会議室（本庁舎3階）

【出席者】

- ・委員 中川 純一、廣谷 静枝、野儀 厚志、野田 博司
森本 英嗣、小谷 弓子、小谷 秀昭、河野 正人
柴田 耕志、笠見 猛、前田 浩（11名）
- ・市長 石田 耕太郎
- ・事務局 健康福祉部長 東本 和也、保険年金課長 石賀 武志
保険年金課 伊東 利恵、矢城 宏朗、福田 祐史、涌嶋 弘美
- ・傍聴者 1人
（欠席委員：北村 祐子、池谷 知恵、松田 隆
福嶋 寛子、稲田 千明）

【日程1 開会】

【日程2 市長あいさつ】

【日程3 会長あいさつ】

事務局
・委員の半数以上の出席。国民健康保険条例の施行規則第2条の規定に基づき、本日の会議は成立（委員11名出席）。
・国保条例施行規則に基づき、会長が議長を務めることになっているため、笠見会長に進行をお願いする。

議長
・傍聴希望の方があったため、協議会に諮り、傍聴を許可。

【日程4 議事録署名委員の決定】

議長
・国保条例施行規則により、議事録署名委員は議長が指名することとなっている。
・議事録署名委員は森本委員と柴田委員をお願いする。

【日程5 審議事項】

- （1）倉吉市国民健康保険条例の一部改正について
- （2）倉吉市国民健康保険条例施行規則の一部改正について

事務局
（1）倉吉市国民健康保険条例の一部改正について説明。
（2）倉吉市国民健康保険条例施行規則の一部改正について説明。

（質疑）

議長
・基金からの持ち出しは、総額どのくらいになるか。

事務局	・1億ぐらいになる予定。
委員	・基金からの取り崩しということがあったが、1人あたり6千円、答申よりも減額するということは、5千万円保険料収入が減る。それを基金から補うということになると、2年間は全て基金からの取り崩しということになるか。
事務局	・引き上げとなったときの基金繰入額は約1億。今回、答申どおりではないので、全体としては足りない状況。基金残高見込みは令和元年度末で5億5千万ぐらい。倉吉市だと約2億5千万あれば足りると言われていたもので、若干余裕がある状態だが、いずれなくなってしまうもの。今回、答申どおりに上げていないことを踏まえ、来年も見直しをさせていただかなければいけない可能性がある。
委員	・基金も1億使うと数年でなくなる。団塊の世代が控えていることを考えると、次回の引き上げも今以上になるのではないか。そういったことも踏まえて、財政状況等の見直し見極めをしっかりとさせていただきたい。
事務局	・答申いただいたように、少なくとも2年に1度見直しを考えている。2～3年の間は、給付の状況もしっかり見ていかなければならない。 ・財政状況の見直しであるが、県の納付金の状況や来年度の見込みがどのくらいになるかなど、わからない部分もある。毎年、状況を見ながら相談させていただきたい。
議長	・国保会計の状況について、周知の方法を工夫してほしい。
委員	・健康に対する心構えや認識に対するPRも考えるべきではないか。
議長	・提案があった3点、次回の改定の考え方、条例改正、規則改正については承認。
事務局	<p>【日程6 その他】</p> <p>・次回は、来年2月上旬を予定している。</p> <p>【日程7 閉会】</p>